



ヤマコウバシ [山香し]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 クスノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通、雌の樹のみ

葉は、紅葉後に光沢ある淡い褐色になり、枝についたまま春まで残る。この様子に冬枯れの風情があり、庭に配植される。野趣ある自然樹形も魅力的。秋には艶のある黒い実をつける。樹名は、枝を折るとよい香りがすることから「山香ばし」。東北中部以南の山地に自生する。



冬の様子

Memo

雌雄異株で、雌株しか確認されていない。しかし、雄株なしで結実し種子は芽を出す不思議な植物。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実										■	■	■	■
紅葉・黄葉		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■											

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強	○		弱


観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○				○		○

ポイント 半日陰の湿り気ある肥沃な土壌を好む。葉を楽しむ樹なので葉焼けを起こさないよう、強い日差しや西日を避けて配植するとよい。雑木風の庭園などに配植すると上手く納まる。

剪 定 枝抜き剪定にて自然樹形を楽しむ樹。大きく育つ樹ではないので手入れの手間がかからない。周囲の樹が繁茂し過ぎないように剪定し、ヤマコウバシの生育空間を確保するとよい。

病虫害は少ない。

病虫害

呼べる鳥  アカゲラ・[アカハラ](#)・[ツグミ](#)・[メジロ](#)